



彩の森保育園
(屋上園庭でボディペインティング)

みらい

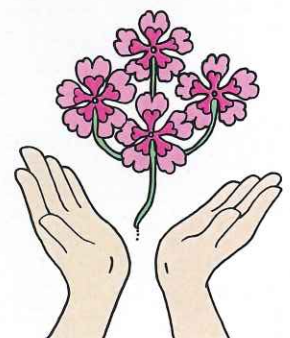
2013.8
夏号

9

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

- 第5回定時総会開催・新会員紹介…P2
- 部会活動…P3
- 子育て支援センター職員アンケート…P4・5
- 3年育児休暇について思うこと…P6
- わくわくがいっぱい!・編集後記…P7
- 保育園紹介…P8



第5回定時総会開催

平成25年5月23日(木)

武蔵浦和コミュニティセンター



去る5月23日さいたま市南区役所内武蔵浦和コミュニティセンター多目的ホールに於いて、さいたま市私立保育園協会の第5回定時総会が開催されました。

ご来賓として、さいたま市副市長小林敏氏、子ども未来局より局長高瀬賢司氏、保育部保育課長金子博志氏他2名、さいたま市私立幼稚園協会会長勝田寿郎氏、埼玉県私立保育

園連盟事務局長久保田泰雄氏、埼玉県私立保育園協議会会長吉田武人氏をお迎えし、67園が出席しました。

議事は、三須事務局長の司会で開会し、小林副市長は「保育所に通う子ども達が増えた事により、乳幼児の感染症対策、障がい児保育等、子どもの安全を確保する環境の整備が急務となっております。このような問題を解決する為には、各保育所等の施設間での交流や連携を強めていく事が必要であり、本年4月から試行的に、4区に保育コーディネーターを配置致しました。この保育コーディネーターは、公立保育所で長年にわたって園長経験者の方が務めていますので、保育全般に関する相談等にご活用いただければと思っております。」と挨拶しました。

その後、平成24年度事業報告、収支決算書報告及び監査報告、平成25年度事業計画及び収支予算書等についての第1号議案から第5号議案が可決され、第5回定時総会は無事幕を下ろしました。

新役員紹介



副会長 三須亜由美

平成18年より、協会の事務局に入り7年、その間に、私立保育園協会は一般社団法人になり、また協会会員も増え大きな組織になってまいりました。これからも私立保育園協会の皆様と一緒に、将来担う子どもたちが健やかに育むことができる保育園づくりを目指し、副会長として微力ながら頑張っていきたいと思えます。

今後とも、宜しくお願いします。



副会長 丸山和彦

今年度から副会長に就任しました、浦和ひなどり保育園の丸山です。大きな時代の変化の波が保育界にも押し寄せて来ている昨今、子どもたちの最善の利益という理念に立ち返り、変えてはいけないもの、逆に変えなければいけないものは何なのかを皆さんと一緒に考えていければ幸いです。



吉岡貞典先生(大宮さくら) 右
中嶋一雄先生(大宮つばみ) 左

一般社団法人さいたま市私立保育園の理事及び副会長としてご尽力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

新会員紹介

社会福祉法人 明和会 らそ保育園

園長 … 深井晴美 所在地 … 〒330-0851 大宮区櫛引町1-574

社会福祉法人 誠心会 あおぞらウィンクルム保育園

園長 … 大野智子 所在地 … 〒330-0854 大宮区桜木町1-185-2 のびのびプラザ大宮2F

社会福祉法人 栄喜会 ゆうりん保育園

園長 … 柿澤葉子 所在地 … 〒331-0804 北区土呂町1-28-1

社会福祉法人 美桜里会 桜花保育園

園長 … 田仲美鈴 所在地 … 〒330-0854 大宮区桜木町4-555

社会福祉法人 博栄会 ふたば夢保育園

園長 … 遠藤悦子 所在地 … 〒337-0051 見沼区東大宮7-70-11

社会福祉法人 日の出福祉会 南よの虹保育園

園長 … 高橋政江 所在地 … 〒338-0013 中央区鈴谷1-18-6

医療法人社団 理趣会 浦和美園ウィングシティ保育園

園長 … 大熊健資 所在地 … 〒336-0963 緑区大門4337

部会活動

平成25年度 予算対策部会

部長 金子 正年



今年も予算対策の部長をいたします金子です。広報部より今回の部会活動は、自分の顔・趣味・自己紹介をとの依頼なので、顔は恥ずかしいので、今大切にしているハイビスカスの植木を紹介しします。昨年6月池袋のサンシャイン内の花屋で気に入り5回目（売れ残り何と500円まで値下がり）にして購入したものです。植木育ては初めて、水やりとチュー

ブの栄養剤、寒い時は日が射す所に移動して、大きくなった時に新しい植木鉢に植え替えて大切に育てました。結果、常に花が幾度と咲き、通年しそうです。花屋さんに出向き、携帯で撮った花を見せたところ大変驚き、自分の花は概ね枯れてしまったそうです。

初めての植木、気持ちを含め、大切に愛情を含めれば酬いてくれるものですね。今自分の最大の癒しと大切な花です。

予算要望も気持ちを込めて各会派へ要望して参りますので部員及び協会メンバーよろしくお祈いします。

平成25年度 調査・研究部会

部長 増永 久美子



新しく調査・研究部の部長となりましたこぐま保育園の増永です。

役員・部長といった肩書きを見ると緊張してしまい、苦手です。「どうしよう…」というのが実際のところですが、いつも「なんとかかなる…」が信条なものですから、若くて力ある副部長さんに頼り、部員の皆さんの力もかりて、やっていこうと思います。力不足

ですがよろしくお祈いします。

調査部としては、協会の皆さんが「他の園はどうやっているの？」という普通の疑問を調査して「なるほど…」と思ってもらおうと思います。今回、会長の依頼を受けて、よく耳にする「横浜方式」について調査しました。今後も依頼に、できるだけお祈いしたいと思っています。

私は、気持ちを開放させてのびのびすること・畑仕事・花いじり・歌を歌うこと…が好きです。体を動かして、好きなことをしていると気持ちよいのですが、なかなか時間が無いのが悩みです。

平成25年度 研修部会

部長 中嶋 貴子

研修部を担当する中嶋です。よろしくお祈いします。皆さまと共に、研修を行うことで、保育力をつけていただけたら嬉しく思います。また、お忙しいとは思いますが、多数の参加をお祈いいたします。

今年度は、昨年に引きつづき、埼玉県自然学習センターに出かけ、自然体験をします。四季を通じて感じる心・遊ぶ心等五感を、より一層磨き、保育士として子どもたちに伝えていけたらと思います。



～センス・オブ・ワンダーより～

子どもにとって、遊びこそが学びの時期です。今は、近い将来、勉強することができるようになるための土壌を、深く深く耕していく時期。子ども同士、元気いっぱい遊ぶなかで、さまざまな喜びを感じとっていきます。感動を分かち合うことで、人間として成長していきます。「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではないと固く信じています。

平成25年度 食育部会

部長 和田 明子

部長の和田明子です。好きなものは、「綺麗でかわいい」ものです。

着るものもフリル等、ふわっとしたものや、小物類はピンク系などが大好きです。好きなアーティストは倉木麻衣さん。顔も覚えてもらっており、イベント等では『わあ、いつもありがとう！』と言われ元気をもらっています。お仕事もさせてもらいながら、好きな事でもできて私は幸せ者です。



食育部の活動として、「ほいくえんの献立Part.2」を各保育園様や当園の栄養士にお力を頂き、発行することができました。私立保育園、ナーサリールーム等に配布致しました。健やかな成長のために給食等の献立作成にお役立て頂ければ幸いです。



平成25年度 広報部会

部長 和田 喜美



私の産地は新潟県佐渡市です。「たらい舟を漕いでさいたまに着ました」のジョークに「え！本当！」とまん丸い目。「佐渡おけさ」の唄の歌詞に出てくる『佐渡へ八里のさざ波超えて』の八里は、佐渡の赤泊付近と越後の寺泊付近の最短距離32kmの実数。ちなみに寺泊、赤泊の佐渡航路は46km。新潟両津航路は67.2km。直江津小木航路は78km。両津

航路—小木航路は国道350号線になっています。『嫁も舅も手を打ち鳴らし五十三里を輪に踊れ』の五十三里は佐渡一周の海岸線の実数です。「和田さんならやりそう」と言われた時は、どんだけの根性持ちに思われているのかと逆にびっくり！ご旅行の際はお声かけください。中心部金井町出身ですが、ご案内いたしましょう。

さて、私立保育園協会に広報部が加わり5年目を迎えました。広報誌名を公募するところから始め「みらい」が誕生し、特集記事に毎回奮闘しながらの年2回の発行も、気がつけば9刊目です。編集会議は情報の場、それぞれが記事の担当、役割を持ち、「部員全員で発行する」がセオリー。時間通りに進行する会議や集計など、副部長のサポートがなにより心強い。広報部は胸が躍る部会です。

子育て支援センター 職員アンケート

さいたま市内の子育て支援センターは単独型が10箇所、私立保育園併設が48箇所、公立保育園が4箇所あります。「子育て支援のための地域の総合拠点」としてどのような事を行っているのでしょうか？単独型・私立保育園併設型支援センターにアンケートにご協力頂き、子育て支援センターについてうかがいました。

*重複する回答につきましてはまとめさせていただきました。

毎月行うイベントにはどんなものがありますか？

英語 リトミック・リズム遊び 誕生会 身体測定 赤ちゃん集まれ 絵本・紙芝居読み聞かせ
消防署見学 ぴよぴよごっこ わんぱくごっこ 季節にちなんだ製作・イベント 園庭開放
保育園ごっこ プラティス フラワーアレンジメント サークル活動 親子体操 手形
わらべうた遊び 給食・離乳食試食会 親子講習会 お母さんたちによるピアノタイム
ボール広場 リフレッシュヨガ 発達相談 ふれあい遊び 手作りおもちゃ
親子で楽しむ映画 野菜の収穫 お散歩体験 お団子作り お父さんと遊ぼう
保育士と遊ぼう 知育遊び 季節の園行事への参加 キッドピクス おやつ体験 年齢別懇談会



親の集まる人気の企画は？

パパもいっしょにリズム遊び お外で(公園)で遊ぼう ミニコンサート 英語 クリスマス会 夏祭り
お餅つき会 お芋掘り プール・水遊び 消防署見学 ミニ運動会 にこにこ保育園 身体測定
親子クッキング 試食会 ベビーマッサージ リトミック プラティス サークル活動の製作
保健センターによる育児講座 歯磨き指導 手形 製作 季節の行事 ふれあい遊び
読み聞かせ リズム体操 親子遊び 運動遊び 幼稚園ママに聞こう 乳幼児救命講習
知育遊び サークル活動 お母さんたちによるピアノタイム 野菜の収穫 リズム体験
遊びの広場 泥んこ遊び お父さんと遊ぼう 離乳食講習会 ヨガ
わらべうたとおはなし会

どんな講習会&講演会をやっていますか？

応急手当講習会 子育てについて 離乳食講習会 救命講習 消防署の方から話を聞く
歯科衛生士によるブラッシング指導 ベビーマッサージ 「鈴木翼」さんによる歌や親子で行えるリズム遊び等
親子体操 育児講座 食事指導 親子で遊ぼうわらべうた
リズム・リトミック 夏・冬の過ごし方 父親講座
絵本・水遊び・散歩について こどもの遊びの大切さ 生活リズム
子育てを楽しむ 友達との関わり方 影絵 観劇会
再就職支援講座 トイレトレーニング 発達心理学 食育
母乳育児 赤ちゃんの睡眠 スタンブハコ講習会 おもちゃで遊ぼう アロマ講座
ジャグリング ヤクルトさんによる紙芝居 親支援講座(連続講座)



育児相談等でどんな相談を受けることが多いですか？

食事や睡眠など生活習慣のことや発達育児について 夜泣き、かみつき、手を出す おねしょ 離乳食について 家事と育児の両立
病気について 子どもに対する声掛けや関わり方など トイレトレーニング イヤイヤ期の対応 言葉、行動の遅れ
保育園入所、幼稚園について ママ友との付き合い 生活リズム 卒乳 いじめ、友達とのかかわり

支援センターの担当職員としてやりがいを感じるのはどんなときですか？

- お子さんの成長を保護者と一緒に喜べたとき。
- 来園した時に元気のないお母さんが帰りに笑顔になっているとき。
- 親子共に心を開いて何度も通って来てくれる時。
- 子供の行動や可愛い仕草でお母さんとともに笑顔になった時。
- 遊びに来てくれる親子が定着し、親しくなっていくことで、子供の成長が見守れることです。
- 毎日来てくれるお母さんがいること。
- 支援センターに来ると「家にいるときよりも良いお母さんになれる。」など言ってもらえたとき。
- ママ友との付き合いや育児に不安を抱えているお母さんが来所を重ねるに従って、生き生きとされ育児を楽しんでいるように見られたとき。
- 自分たちが企画したものを楽しんで行っているとき。
- 講習会のあとの感想で「楽しかった」「また次回も参加したい。」など聞いたとき。
- 頼られていると感じたとき。子供に大好きと言ってもらえたとき。
- 「楽しかったです。また来ます。」と言ってもらえたとき。
- 妊婦の時に会ったママが不安いっぱいの出産子育てを経験し表情の変化やたくましいママになっていく姿を見るとやりがいを感じる。
- 第2子、第3子の出産に伴い、数年ぶりに来園してくれるママたちがいること。
- 支援センターに通うことで生活にリズムができて子育てができて楽しいという声を聞いたとき。
- それぞれの親の感性や持ち味を生かしてお互いが手本になったり、学び合ったりしながら楽しんでいること。子供の成長とともに見守りながら育ち合っていく親子の姿が見られるとき。
- ママ友達ができたことと喜ばれたとき。
- 子供が嬉しそうに一緒に手遊びをしたり歌ったり踊っているとき。

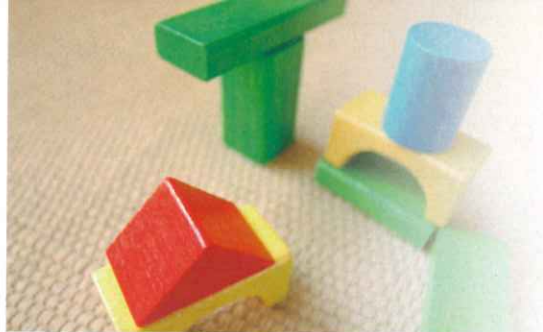
支援センター職員の悩み・困っていること等ありますか？

- プログラムの進行にご協力いただけない時が難しい。(私語が多く進行がスムーズにいかない)
- 保育園併設、担当1名で運営しているため、企画や準備に追われたり、迷いもある。
- お母さんが話に夢中になって子供から目を離してしまう。
- インターネットや育児書に頼り過ぎの子育てが多く見られる。習い事など低年齢化しすぎて本来子供が遊びから学んだり、日常生活から学ぶことが減ってきたように思う。もっと親子一緒に過ごす時間を増やしてほしい。
- 人手不足、シフト調整。
- 自分たちの思いや考えが親や子に伝わらないとき。
- 講習会に参加する子どもたちの月齢に幅があるときに、それぞれが楽しんでもらえているか、また、すべての保護者のお話を均等に聞いて上げているか考えることがある。
- 遊んだあとの片付けをやらうとしない保護者が多いこと。
- お母さん同士、仲良しのグループがかたまりすぎてしまうこと。慣れてくるとルールが乱れてきてしまう。他の方が居づらい雰囲気になってしまうことがある。
- 利用者をより増やしていくにはどのような工夫をしたらいいのか。
- 利用者が多く喜ばしいことだが、施設が狭いため活動プログラムを工夫している。
- 公園替わり、プール替わりと集団や職員とのかかわりは求めている利用者も増えている。園内を開放しているひろば型として個々への対応がそれぞれとなり、難しさを感じる。
- 支援過多になりすぎ。要求が多くなる。グループでの利用。慣れ過ぎによる馴れ合いが多くなる。
- 電話相談はその後の経過がわからないため心配になる。時には経過を伝えてくださり嬉しい。
- 親がいつも先に指示するとき。

その他ご自由にご記入ください。

- 1日平均40組(80人)ほどの来館があり、ニーズの高さを感じている。
- 毎日日課のように利用、週一、月数回利用、イベントのみ利用など人によって利用頻度は様々ですが、来てよかったと利用者の方に言っていただき元気になって帰っていかれる親子の姿を見送る時、この仕事をしていて良かったと思います。まだ利用していない方が、親子で家に閉じこもっている方が、勇気を持ってセンターの扉を叩いてくれるといいなと思っています。
- さいたま市内の他の支援センターの方と情報交換や交流の場を持つことができたらいいいなと思います。
- 水遊びや泥んこ遊びなど小さい子供が安心して遊べる安全な遊び場がなくなっている。小さな子どもでも自由にのびのびと体を十分に動かして遊べる場所を求めて、開催日には大勢の親子が利用しています。園や施設以外の公共の場、公園なども子供が安心して遊べる砂場や水遊び場が整備されると良いと感じています。
- 他区の施設見学や情報交換があるといいなと思う。
- 保育園とは違い、いろんな親・子どもと接することで自分自身も学ぶことがとても多いです。
- 近所づきあいが希薄になっている今の社会の中、家庭で子育てをしている保護者にとってはとても意義深い事業だと思います。

アンケートにご協力いただきました子育て支援センターの皆様にお礼を申し上げますとともにますますの皆様のご活躍を期待しております。



3年育児休暇について

思　　う　　こ　　と

世間では「3年育休」について、賛否両論が湧き起こり、話題となっておりますが、実際に、3年間も育休が取れるものなのでしょうか…!?

私は私立保育園の園長という立場ですが、昨年第二子を出産し、産休・育休取得後、今年4月に生後6ヶ月の子どもを保育園に預けて仕事復帰しました。第一子出産時は育休を一年間取得しましたが、管理職という立場上、不在中は代行職員及び職場に大きな負担をかけることになり、長期休暇は困難であると実感しており、第二子は、なるべく早い時期の復帰を考えておりました。私自身は3年育休を取得するのは不可能という状況です。

しかし、これから家庭を持ったり、妊娠・出産をしていく若い世代にとっては、どうなのでしょう。仕事と育児を両立しながら、いきいきと力を発揮出来るような職場環境を整えていかなければ、妊娠、出産を機に退職となり、力のある人材を長期雇用していくのは難しいと考えています。子どもとの時間をより多く持てることは素晴らしいことですが、長い育休よりも、復帰後の働き

やすい環境を整える方が現実的であるようにも感じます。

また、管理者側の問題として、当園には現在該当職員がいませんが、姉妹園には産休・育休取得者が複数いる園もあり、人事体制を整えるのに大変な苦勞をしています。育休を1年取得した場合でも産休と合わせると1年以上の休暇になり、その間は有期雇用の職員を採用しなくてはなりません。保育士不足の現在、有期雇用、早番、遅番職員を採用するのはかなり難しく、その結果、派遣職員の採用となり赤字になってしまいます。このような現状がある中で、3年育休となると、より大きな課題が残ります。

本当の意味での女性政策とは何なのか…?管理者としては、これからの保育園を担っていく職員が、仕事と育児を両立し力を発揮していけるような体制作りを目指したいですが、それには行政から育休取得期間にも補助金を出していただくなど、各施設への支援やバックアップが無ければ現実的に難しいものであると感じます。

30代 園長

保育園を開園して2年目の11月。園長である私自身、3ヶ月という短期間ではあったが産休・育休を取得した。早々に復帰したものの3歳を過ぎる頃までは病気も多く、休むことも多かった。そんな時期だからこそ3年育休が必要なのか?もし、状況が許したとしても私は3年育休を取ることはしなかっただろう。

子供が病気の時、幼稚園や保育園、学校の行事など必

要な時にお休みが取れば、仕事・家庭・子育ての両立ができる。復帰後の体制の方が重要である。

しかし、人員不足が深刻な中、3年育休どころか、必要な時に休みを取ることはできているだろうか?何よりも人材不足の解消・保育士の質の向上、基盤がなければ育休どころではない。

40代 園長

私は第2子の育休を経て、今年4月に職場復帰をしました。3年育休ということが言われるようになりましたが、私自身は1年間育休をいただき、短時間勤務で復帰させていただいたことは最良の形だったと思っています。幼くして集団生活を送る子どもの負担を考えると最良という言い方は間違っているかもしれません。しかし、共働き、夫婦二人三脚で家事育児をしていく家族のあり方を選択するならば、母親が専念するのは1年間が妥当だったと思うので

す。もちろん、長く職場を離れることへの不安や経済的理由もあります。しかし子育てに奮闘する中で感じることは、母親だけが3年育休をとれる社会より、短期間であっても父親も育休がとれる社会になってほしいということです。また、出産後も仕事を続けたい女性にとって、制度ばかりが先行するのではなく、短時間勤務など復帰後の働き方を選択できる職場環境が整うことが、何よりありがたいことだと思います。

30歳 保育士

保育園の非常勤看護師として勤め始め1年6ヶ月。子供達の笑顔や成長ぶりを見守るこの仕事にやり甲斐と楽しさを感じる毎日です。そんな中で分かった第3子の妊娠。授かった喜びの反面、仕事を続ける事は半ば諦めていました。そんな私に園長先生から「産休とって戻ってきてほしい」と言葉を頂き、勇気が湧き家族に相談。皆、応援すると背中を押してくれ、仕事続行を決断しました。

当初、生まれてくる子可愛さに育児休暇を一年と希望しました。しかし、途中入園の厳しい現実を知り、悩みに悩んだ結果、平成24年4月から生後5ヶ月で復職しました。この1年5ヶ月、大変な事もありますが、家族の応援と職場の理解に感謝しながら楽しく仕事をしています。今後も笑顔を応援する看護師として頑張ります。

41歳 看護師

わくわくが いっぱい!

まきば保育園

ジャガイモ掘り



借りている畑の今年最初のジャガイモです。

かわいデイナーズリー保育園

朝顔の製作



3歳児クラスの製作です。折り紙で「あさがお」を折り、クレヨンで葉っぱを描きました。そしてクラスには、色とりどりにたくさんの朝顔が咲き誇りました。

今羽保育園

寒天あそび



夏本番の前に、どんぐりこや水あそび、小麦粉粘土や片栗粉、寒天を使った感触あそびを楽しんでいます。今回は、その中でも、2歳児クラスの寒天を使った感触あそびを紹介します。はじめての寒天に興味津々な子どもたち。つるんとした寒天をぐしゃっと握りつぶし、手を入れて「きもちいーねー」と大喜びでした。ジュース作りや型抜きで、おいそなデザートがたくさん出来ました。たべてみて～(笑)

向こころ保育園



向こころ保育園では、毎年消防署の方に来園していただき、応急手当講習会を職員全員が受講しています。25年5月よりWEB講習会が始まり、PCやスマホで1時間講習を受けると、実技講習2時間で修了証が発行されます。



うらわライトハウス保育園

公園で



「なんだこれ?」「みせて!!」自然の中には不思議がいっぱい。今日の不思議はたんぽぽのわたげでした。

めだか保育園

鯉つかみ

「お父さんたちの作ったプールで鯉つかみ、今年も泳ごぞー」



編集後記

・表紙の写真・ 屋上園庭で ボディペインティング

真夏の青空の下、屋上園庭でボディペインティングを楽しみました。

「服が汚れる」「体が汚れる」と、初めは消極的だった子どもたちも、気づけば、顔も体もカラフルに。

友だちと色をぬり合ったり、色をまぜて新しい色を作って大興奮です。一人ひとりが夏ならではの遊びをダイナミックに楽しみました。一番夢中に遊んでいたのは先生でした。

彩の森保育園



毎年5月に「新人歓迎ボーリング大会」と称し職員のチームワークのスタートを切ります。

H24年度は新規開園した彩の森保育園の職員のチームワークを育てるためにと誘い、企画しました。H25年度は、前年度敗者チームが企画です。リベンジに燃える彩の森保育園、昨年とは違い職員は結束、299のスコアを持つ卓樹園長率いる軍団に、打ち勝つ作戦は「こびとの森ガーター禁止令」とにかく1本は倒すこと。必ず前回よりは良いスコアが望めるはず。新人職員の中には、「父と兄とで練習に行きました」と家族の応援もありました。

そして迎えた決戦の日、理事長のストライク始球式で始まり1・2・3位を独占した。7位で奮闘した主任が喜び、記念写真です。ブービー賞の表彰で「主任!」と喝を入れる卓樹園長に「私の下にもう一人いるんです」と哀願のお言葉。ブービーメーカーはこびとの森です。メーカーを補う上位のスコア、何をとっても勝利は我がチーム。広報部 和田喜美

保・育・園・紹・介



やまばと保育園 園長 澤田美夜子

当園は、1996年（平成8年）60人定員の認可園として開園しました。前身は旧浦和市にあった2つの家庭保育室です。1993年（平成5年）2つの保育室が、それぞれの事情で、その地での運営ができなくなり場所探しが始まりました。旧大宮市で土地が見つかり合併して無認可やまばと保育園に。そして、3年後、保護者・職員の『大宮に新しい認可保育園をつくる』という熱い思い・たくさんの方々の支援を得て、運動が実り、社会福祉法人こぐま会の力を借りて法人2つ目の認可園となりました。当時は、まだ始まったばかりだった一時的保育促進事業、長時間の延長保育促進事業、乳児保育事業、障害児保育事業、子育て支援事業（ミ二）等を行いました。『どの子どもも育つ』『すべての子の全面发展をもとめた保育を』『友達を大切に仲間の中で育ち合う』『保護者も職員も子と共に育つ』『地域のなかで開かれた保育園に』開園当初からの理念です。ここ染谷地域は、まだ自然が残っている所で、少し足をのばすと見沼たんぼに出られます。園庭が狭いので近くを散歩できるのは、有難いです。建設時この地域は緑保全地区であったこともありますが、木登りできるようにと植えた桜・さくらんぼ・楓・いちよう等大くなりました。中でも桜は太くりっぱになりターザンロープを垂らして遊べるまでになりました。子どもたちは水・砂・泥・リズムあそび中心の生活をしています。これからもよろしくお願いします。



大宮つぼみ保育園 園長 中嶋 貴子

大宮つぼみ保育園は、大宮駅から宇都宮線1つ目の土呂駅で、徒歩3分の所にあります。付近は見沼たんぼ・市民の森があり、緑に囲まれた住宅街です。平成元年に、働くお母さんを応援しようと家庭保育室を開園しました。そして、平成13年に子どもたちと保護者をつばみで働くみんなの幸せを願い認可保育園になりました。保育園の理念「自尊感情・自己肯定感」を育てる保育を目標におきました。乳児期は、一人ひとりの発達を丁寧にとらえ、子どもにとって、保育園は、安心できる場所・穏やかな場所・楽しい場所・自己実現できる場所でありたいと願っています。幼児期は、子ども同士の中で育ち合い役割遊び・ルール遊びの中で生きる力を身につけ・課業（環境認識・文学・数・わらべうた・描画）の学習を通して、自立から自律へとつなげていきます。自分自身を大切に、相手をも思いやる気持ちを育て、見守り、自己発揮が出来る場でありたいと思います。「せんせい大好き」「せんせい嫌い」「明日も来るね。」「保育園来たくない。」など子どもたちの言葉に悩んだり、振り回されたり、元気をもらったり嬉しかったりと色々ありますが、皆で話し合い1つ1つを乗り越え、積み重ねています。子どもを中心として、保護者と共に、子供の幸せを願い、発達をとらえ話し合える関係でありたい、そしてつばみで働く職員が、生き生きと元氣な場所でありたいと願っています。



ハーモニー保育園 園長 島村 和宏

ハーモニー保育園は開園13年目を迎える北区宮原町にある45名定員の保育園です。「子どもひとりひとりを大切に 保護者の気持ちに寄り添い 職員は明るく 地域に開かれた施設を目指します」の保育理念のもと①異年齢保育（日々兄弟姉妹のように）②チーム保育（全職員が全園児を）③選択制の保育（自分で考え自分で行動する）を主な特色として子ども達の「自立と自律」を促せるように保育を展開しています。

保育を通じて社会性やコミュニケーション能力が育つように子ども同士の関わる機会を特に大切にしています。子どもと大人の関係については「自然体」であることも基本方針です。住宅街にある園ですが近隣には公園が多くあり外での遊びや自然と触れる時間も大切にしている暖かい日は園庭で泥んこ遊びも行っています。子ども達には園での遊びや生活を子どもらしくその子らしく存分に楽しんでもらいながら自分が好きでみんなの事も好きな子どもになって欲しいと思っています。

「みんな違ってみんな良い」子ども一人一人違う個性を尊重して、子どもと大人（職員、保護者）が共に育ち合える場所でありたいと考えていて子ども達にとって大好きな保育園、子ども達が大人になっても「楽しかったな」と思い出してもらえる保育園、いつまでもみんなが集える保育園を目指しています。



保育園萌夢 園長 中村 晃子

食育に力を入れ、お外遊びを中心に、日本ならではの四季を五感で感じ取り心身共に丈夫な子に育ってくれるよう、全職員一丸となり日々保育にあたっています。また、日本の伝統と文化を伝えるべく、年間行事には「おもちゃの日」「夕涼み会」「お月見会」などを盛り込み、これから国際社会に出て行く子どもたちに自国に対する誇りを持ち活躍してほしいという願いが込められています。

保育園萌夢では、大切なお子様の一生を見据え、「親御さんと一緒に子育てをする」をモットーにそれぞれの保育者がお子様の人間形成上一番大切な時期に接していることの責任とやりがいを感じ、日々保育を行っています。また、当園は開園当初から食育へ特に力を入れており、今後の子どもの成長に関わる大切な時期でもあるため、当園では栄養バランスを考慮した手作りの給食を提供しています。食の作法に関しても、お箸やお茶碗の正しい持ち方などのしつけを行い、大人になっても恥ずかしくないマナーを身に付けられるよう指導しております。

保育園萌夢の子どもたちはとにかくお外遊びが大好きで、登園後身支度を終えるとすぐに園庭で泥んこ遊びが始まります。体中泥んこになりながら楽しく遊んでいます。天気の良い日には園の近くにある競馬場へも遊びに行きます。身近に草花や生き物を感じながら元気に走り回っています。